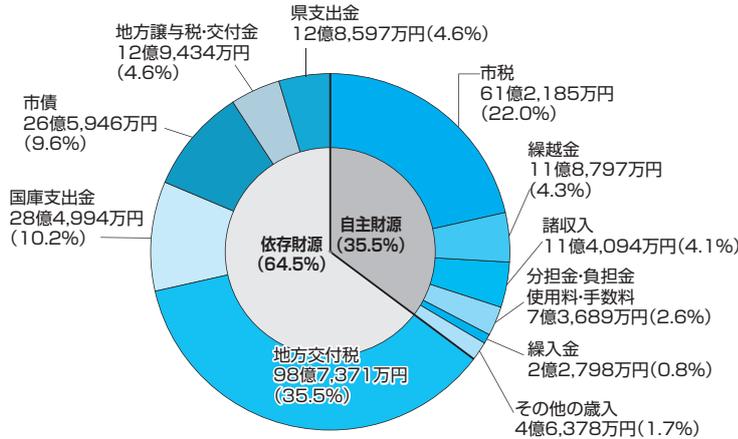


二本松市の財政

一般会計 歳入

278億4,283万円(前年比3.4%減)



財政公表について

市の財政がどのような状況にあり、皆さんが納めた税金や、国・県からの補助金、市の財産、借りているお金がどのように使われているかを知っていただくため、財政状況を市民の皆さんに公表しています。

今回は「平成22年度決算」の概要をお知らせします。

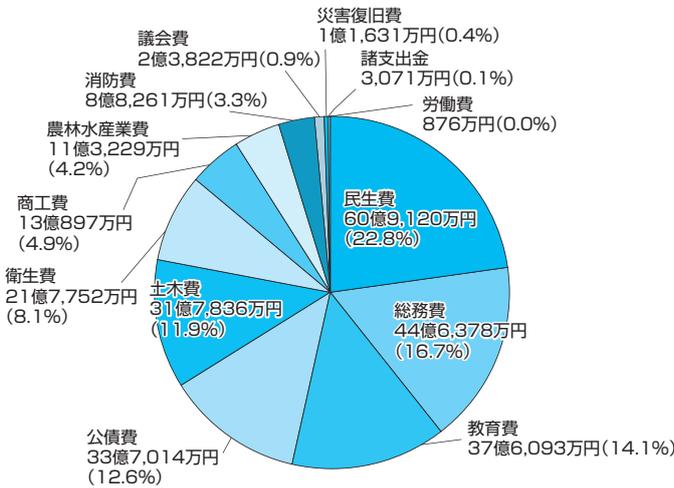
平成22年度決算の概要

平成22年度一般会計決算額

歳入総額	278億4,283万円
歳出総額	267億5,980万円
差引	10億8,303万円
平成23年度へ繰り越すべき財源	5億414万円
実質収支額	5億7,889万円

一般会計 歳出

267億5,980万円(前年比3.2%減)



歳入では、地方交付税が特別枠の「地域活性化・雇用等臨時特例費」分で増額となったほか、財産収入が増加しました。また、線越金、諸収入も増加しました。

一方、景気低迷などの影響を受け、市税が減額となったほか、国庫支出金、地方譲与税・交付金などが減少しました。また、大規模建設事業が完了したことなどから、事業実施に伴う市債が減少となりました。

歳出では、年度末に発生した東日本大震災により災害対策にかかる経費が増加しましたが、市長期総合計画に掲げられた基本目標実現のため、より効果的に展開されるよう主要施策を選定、実施しました。主な概要については、次ページに掲載しています。

～歳出用語の解説(主な支出科目)～

- ◎民生費：福祉、生活保護、子育て支援などの経費
- ◎総務費：税金の賦課徴収、選挙、支所等管理、国際交流、自治振興などの経費
- ◎教育費：学校教育や生涯学習(社会教育)などの経費
- ◎公債費：市の借金の返済などの経費
- ◎土木費：道路や河川等の整備、市営住宅管理などの経費
- ◎衛生費：各種検診、予防接種、ゴミ処理などの経費

～歳入用語の解説(主な歳入科目)～

- ◎市税：市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、入湯税等
- ◎諸収入：各種貸付金元利収入等
- ◎繰入金：基金(市の預金)を取り崩したお金等
- ◎地方交付税：地方公共団体の財源調整を目的として国から交付されるお金
- ◎国庫支出金・県支出金：特定の事務事業のために国(県)から交付されるお金
- ◎市債：市の事業や国の施策により発行した借入金

市債残高

会計	残高	市民一人あたり
一般会計	300億5,088万円	49万5,529円
特別会計	51億9,365万円	8万5,642円
企業会計	120億4,194万円	19万8,568円
合計	472億8,647万円	77万9,739円

- ※上記数値は平成22年度末市債残高です。
- ※特別会計は、国保診療所建設事業、簡易水道事業、下水道事業分です。
- ※企業会計は、水道事業、下水道事業分です。
- ※市民一人あたり残高は、平成23年3月31日現在の住民基本台帳人口(60,644人)を基準にしています。

市民一人あたりに換算すると

一般会計

一人あたりの市税負担額
10万947円
一人あたりに使われたお金
44万1,260円

① 活力ある産業・観光交流のまちづくり

地域の特徴を生かした産業の振興、活力と賑わいの創造

農業者の育成支援のため、農業用施設整備費用の助成や施設改修等を行うとともに、中山間地域等の農業生産者を助成しました。また、市内産業の振興と経営力の向上支援として商工業融資事業などを実施するとともに、企業立地の促進を図りました。さらに、地域活性化を推進するための体験型交流の拠点として「名目津温泉」を整備し、その管理運営を行いました。道路網の整備にも努め、都市基盤の充実と魅力的なまちづくりを推進しました。

○中山間地域等直接支払制度事業	1億9,550万円
○農業用施設整備事業	3,699万円
○商工業融資事業	6億3,384万円
○工場等立地促進事業	4,943万円
○名目津温泉整備・管理運営事業	7,885万円
○観光立市推進事業	2,264万円
○道路・橋梁整備事業	9億3,574万円



年間3万人の方に利用いただいている名目津温泉

② 人を育てるすこやかなまちづくり

子育て支援、次代を担う子どもたちの育成

子育て家庭の経済的負担軽減のため、小学生医療費の助成を中学生まで拡大するとともに、仕事と家事の両立支援のため、延長保育・一時保育を実施する事業者を助成しました。また、小・中学生の学習指導効果を高めるため、教材等の整備充実を図るとともに、教育環境の改善のため、小・中学校校舎等の耐震補強や大規模改造を行いました。

○妊婦健康診査事業	3,768万円	○家庭児童相談室運営経費	494万円
○子ども医療費助成事業(小・中学生)	8,586万円	○教育振興教材等整備事業	1億6,779万円
○延長保育・一時保育促進事業	1,335万円	○学校施設整備事業	8億3,637万円

健康づくりと生涯スポーツの支援

市民の健康づくりと適切な医療の確保を図るため、生活習慣病予防事業を実施するなど、保健サービスの充実を図りました。また、文化・体育複合施設として、岩代総合文化ホールを整備・運営し、市民活動を支援する環境を整備しました。

○生活習慣病予防事業	5,857万円
○岩代総合文化ホール整備・管理運営事業	3億4,666万円



移動式観覧席を備えた岩代総合文化ホール

③ 安全・安心、市民の暮らしを支えるまちづくり

水環境の保全、快適な生活環境づくり

生活排水の適正処理のため、浄化槽設置者を助成しました。また、生活路線バスの維持およびコミュニティバスの運行などを行い、市内の公共交通体制の充実を図り、良好な生活環境づくりに努めました。

○浄化槽設置事業	2,771万円	○交通対策事業	1億7,318万円
----------	---------	---------	-----------

市民の生命と財産を守る

市民が安全・安心に生活できるよう消防ポンプ車や小型動力ポンプの更新、消火栓および防火水槽の設置等、消防能力の充実を図るとともに、交通安全関係団体を助成し、鼓笛パレードなど交通安全啓発活動を推進しました。

○消防施設等整備事業	6,215万円	○交通安全推進対策事業	147万円
------------	---------	-------------	-------

※平成22年度決算の詳細については、決算書および関連資料を本庁企画財政課のほか、各支所、住民センター、公民館、図書館に備え付けていますのでご覧ください。